令和7年度施策評価シート（評価対象年度：令和6年度）

基本政策【分野】	誰もが生涯にわたり安心して健やかに暮らせるまちづくり 【福祉・保健分野】	施策	08_健康づくり	所管部長 取りまとめ所属	健康づくり担当部長 健康づくり課	
施策の内容	市民一人ひとりが生涯を通じて健康に暮らせる環境を整えられるよう、ライフステージに応じた健康づくりの支援を行うとともに、健康診査や各種検診の充実等により、疾病予防と早期発見を図ります。 また、誰もが自殺に追い込まれることのない地域社会の実現をめざし、こころの健康づくりを推進します。					
めざす姿	市民一人ひとりが自らの健康に関心を持ち、ライフステージに応じた健康づくりに取り組むことで、心身ともに健やかな毎日を送っています。					
重点事業	習慣化アプリ行動変容支援事業	地域食習慣改善推進事業				
施策構成事業	感染症予防対策事業費	疾病予防事業費	がん検診事業費			
	食育推進事業費	市民健康増進事業費	健診・保健指導事業費			
	特定健康診査等事業費	自殺防止対策事業費				
評価						
進捗評価	順調	評価の判断理由	重点事業の取組は計画通り実施ができており、また、全ての成果指標も令和5年実績値と比較し向上しており施策全体が順調に進捗していると判断できます。			
施策推進上の課題・環境変化	令和6年度実施の「健康づくりに関する意識調査」によると、40～50歳代男性の肥満の人の割合が41.6%（令和3年度38.5%）、20～30歳代女性のやせの人の割合が19.0%（令和3年度17.2%）、20～30歳代の朝食欠食する人の割合が22.5%（令和3年度16.8%）といずれも増加し、また体力や健康維持のための運動をしていない人の割合は、令和6年度は30歳代が最も高く72.0%との結果でした。このように、若い世代や働き盛り世代の健康面に課題がみられます。					
評価の経過	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	順調	順調				
施策推進の方向性						
方向性	継続					
総評・今後の施策推進方針	健康に関心の低い成人期の働く市民の参加が見込まれるアプリを利用した講座やオンライン会議システムを利用した相談などコロナ禍に採用した新たな形式の健康づくり事業も継続実施していきます。また、現在利用のツール以外にも有用なアプリ等があれば採用を検討し、ICTを積極的に活用していきます。 食育推進については、主食・主菜・副菜をそろえた栄養バランスの良い食事を啓発するために伝統的な和食料理の普及などを活用していきます。					
成果指標						
成果指標名	現状値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
指標の定義		実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
こころサポーター養成者数	-	181人	375人			1,250人
こころサポーター養成講座の受講者数（累計）						
日頃、自分の健康に気を配っている人の割合	65.5% (R4)	69.1%	69.6%			↗
市民意識調査で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合						
定期的に健康診査等を受けている人の割合	73.0% (R4)	75.5%	76.4%			↗
市民意識調査で、過去1年以内に健康診査または健康診断（市や職場、学校などが実施したもの、または人間ドック）を受診したと回答した人の割合						

重点事業の取組内容			
事業名	習慣化アプリ行動変容支援事業		
事業内容	健康的な生活習慣の確立を促すため、「ピアサポート型習慣化アプリ」「食生活改善アプリ」など、スマートフォンによるアプリを活用した健康づくりに取り組みます。		
取組工程	項目	令和6年度	
		計画	実績
	習慣化アプリの活用	継続実施	継続実施
	食生活改善記録アプリの活用	継続実施	継続実施
栄養評価尿検査キットの活用	継続実施	継続実施	
令和6年度取組内容	<p>●「食生活改善記録アプリ」・「栄養評価尿検査キット」、歩数等を記録し健康的な生活習慣の継続・確立をめざす「習慣化アプリ」を活用した講座を開催し、計110名が参加しました。</p> <p>●全参加者中、企業にアプローチし申し込みがあったのは36%（40名）でした。また、各アプリ利用後のアンケートにおいて、回答者の満足度の平均は10点満点中8.3という状況でした。</p> <p>●一方、課題として、対面講座には参加せずアプリ利用を希望した非対面希望者が11名いましたが、内8名（73%）はアプリ利用の継続ができなかったため、令和7年度は企業にスタッフが外向くなど対面講座での実施を積極的に進めます。</p>		
事業名	地域食習慣改善推進事業		
事業内容	地域の食育推進のための人材養成・育成・活用を図るため、講座や研修を実施します。また、食生活が多様化する中、地域の食文化の次世代への継承を図るため、和食文化や地域の郷土料理を活用した食育活動に取り組みます。		
取組工程	項目	令和6年度	
		計画	実績
	ヘルスマイトの養成	講座の実施	講座の実施
	ヘルスマイトの資質向上	研修の実施	研修の実施
地域の食文化の継承	講座の実施／リーフレットの配布	講座の実施／リーフレットの配布	
令和6年度取組内容	<p>●ヘルスマイト養成講座の実施 地域における食育を推進する人材養成のため、市民を対象に全8回の養成講座を実施しました。17名の申し込みがあり、内13名が「伊勢原市ヘルスマイト」として登録しました。</p> <p>●ヘルスマイト資質向上研修の実施 ヘルスマイト登録後の資質向上のため、入会1年目の新任者向け研修会（26人参加）、全会員を対象とした研修会（全5回 延142人参加）を実施しました。</p> <p>●地域の食文化の継承 地域の食文化を次世代へ継承するため、和食文化等に関する講習会等を実施（57人参加）しました。また、市内大学とJA湘南に和食文化に関するリーフレットを配架するとともに、ヘルスマイトに依頼し公民館まつり等で市民に配布しました。</p>		
重点事業以外の取組内容			
令和6年度主な取組内容	-		